

## “お尻すっきりで 気分もスッキリ”

～私たちが取り組んだ排泄ケア～



特別養護老人ホーム  
和みの郷  
石水あずさ

## 和みの郷の概要

- 平成14年4月 沼津市大平に開設。  
沼津の連山と狩野川に囲まれた豊かな田園地帯のほぼ中心にあります。  
天気の良い日には「富士山」と遠くに箱根の山々を望むことができます。
- 特養入所者は70名が5つのユニットに分かれ、1ユニット14名の入居者が5～6名の介護職員と共に生活しています。

## ＜取り組んだ課題＞

### 一人ひとりにあった排泄ケア



平成17年1月

### お尻すっきり委員会

排泄ケアの考え方、視点の共通認識

## お尻すっきり委員会

サービス向上会議

### お尻すっきり委員会



## ＜具体的な取り組み＞ 委員会として

- 各種アセスメントシートの活用
- パット・オムツの選定  
個人にあった  
\*オムツ、リハビリパンツ、  
布パンツ等の形態の選定  
\*吸収量によるパットの決定

## ＜具体的な取り組み＞ 委員会として

- メーカーによる排泄の勉強会  
\*オムツの効果的な使用方法  
\*模型による排尿実験  
\*排泄のメカニズム
- 意見交換ができる体制づくり  
\*成功事例や失敗事例の共有

### ＜具体的な取り組み＞

#### 委員会として

- ユニットでの取り組みを  
バックアップ

- \* ユニットでの実施状況の  
報告と確認
- \* 困難事例の検討

### ＜排泄時間を把握するための表＞

排泄時間と量(単位:10分(以下未満)) 11月 1日 10時

OD番号	11月 1日 10時											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
OD番号	20:30~2:00 トイレに誘導(午後帰途)											
OD番号	本人に誘導し尿意が確認された場合は、誘導した時刻に誘導した回数(誘導回数)を記入する。											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											
OD番号	誘導した回数											

### ＜尿量を把握するための表＞

名前: 様

名前	様					
日付	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
日付	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
性別						
年齢						
尿量の把握						
トイレの誘導						
交換用パット						
備考(他)						
トイレの誘導						
尿量の把握						
トイレの誘導						
尿量の把握						
トイレの誘導						
尿量の把握						
トイレの誘導						
尿量の把握						
トイレの誘導						
尿量の把握						
トイレの誘導						
尿量の把握						

### ＜具体的な取り組み＞

#### 事例①

- Aさん 女性 85歳 要介護度4
- 精神疾患、妄想有り
- 入所以前(精神科)
  - 日中：トイレ誘導、紙パンツ+パット
  - 夜間：オムツ使用(つなぎ服用)
- 入所後
  - 尿意・便意有り
  - 日中：トイレ内動作一部介助  
紙パンツ+パット
  - 夜間：オムツ使用

#### 事例①

##### ＜ニーズ＞

- 安心して排泄したい

##### ＜目標＞

- 夜間の排泄が不快なくできる

##### ＜取り組み＞

- 夜間の排泄から見直した  
排尿パターンの把握
- ポータブルトイレの併用

##### ＜結果＞

- ポータブルトイレと布パンツになった
- 昼夜とも自立

### ＜具体的な取り組み＞

#### 事例②

- Bさん 女性 85歳 要介護度5
- 日中：リハビリパンツ(布)+パット使用  
トイレ誘導
- 尿量が多い
- 午前中、1時間~1時間半おきにトイレ誘導  
するも既にパットが濡れている  
介助のたびに顔をしかめる
- 午後は、尿漏れなくトイレで排泄できている

## 事例②

## &lt;ニーズ&gt;

- 尿汚染による不快感を無くしたい
- トイレでの苦痛を減らしたい

## &lt;目標&gt;

- 汚染時間を減らす
- 午前中のトイレの回数を減らす

## &lt;取り組み&gt;

- 尿測
- 利尿剤の調整
- トイレ介助回数の減少

## &lt;結果&gt;

- 浮腫が出現し、利尿剤を再開
- 日中パンツのみで過ごすことは断念
- パットに出ている時は交換のみ、出ていない時はトイレ介助

## &lt;具体的な取り組み&gt;

## 事例③

- Cさん 男性 73歳 要介護度4
- 脳梗塞後遺症による右不全麻痺
- 車椅子自操する（ずり落ちあり）
- 怪我により立位不可
- 尿意・便意は、不確か
- 昼夜：オムツ使用者
- オムツちぎり異食

## 事例③

## &lt;ニーズと目標&gt;

- オムツを外したい
- 自分のペースでトイレに行きたい

## &lt;取り組み&gt;

- 排尿パターンの把握

## &lt;結果&gt;

- オムツ→リハビリパンツ（布）・パット
- 本人のタイミングでトイレでの排泄
- Cさんらしい生き生きとした活動が増えた  
行動範囲の広がり 表情が豊か  
自発的な発語が増えた

## &lt;活動の成果と評価&gt;

## ご利用者

- 一人ひとりに合った排泄が  
出来るようになった  
より自立 よりスッキリ  
プライドの復権
- その人らしい生活が  
出来るようになった  
活動性が上がった  
意欲的行動が増えた  
穏やかな表情、笑顔が増えた

## &lt;活動の成果と評価&gt;

## 委員会

- 職員個々の排泄ケアのレベルの  
バラつきが平均化した
- ユニットの経験が施設全体で  
共有出来たことで実践力が上がった
- 商品理解により、適切な使用が  
出来るようになった
- パット・オムツの経費が削減出来た

## &lt;今後の課題&gt;

- 委員と一般職員とで排泄ケアに  
対する熱意に差がある



委員の交代を計画的に実施する  
委員の持つスキルの活用  
巡回指導 勉強会講師

＜今後の課題＞

- 委員の変更があっても委員会の活動レベルを維持・向上する



委員の交代を計画的に実施する  
委員会の活動をまとめる

ご清聴ありがとうございました。

